

音楽科

学年	学習状況と課題分析	具体的な改善策
第一学年	<ul style="list-style-type: none"> ・ほとんどの生徒は学習意欲があり、毎回板書している「本時の目標」が達成できるよう取り組んでいるが、無気力な生徒もいる。 ・パート練習では、リーダーを中心に歌唱練習に取り組むことができた。歌い終わった後、課題や改善点を話し合う場も見られた。 ・音符を階名で答えるのが苦手な生徒が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・表現活動が苦手な生徒やC評価の生徒に対しては、重点的に個別指導を行う。 ・グループ学習によって、コミュニケーション力をアップさせ、無気力な生徒も学習がスムーズに行えるようにする。 ・クロームブックで音符を読む小テストを実施している。回数を重ねるごとに早く正確に音符が読めるようになっている。継続して行き基礎的な学力を身に付けさせる。
第二学年	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートの結果から95%以上の生徒は前向きに授業に取り組み、課題にきちんと取り組んでいると感じていることがわかったが、「自分の意見や考えを発表できていない」と感じている生徒が約40%いる。 ・アンケートの結果から、90%以上の生徒が授業の進度や教え方について満足していることが分かった。 ・音符の長さや強弱記号など基本的なことが身につけていない生徒がいる。 ・箏の学習では、演奏できるまで繰り返し練習したり、得意な生徒が苦手な生徒に教えてあげる姿が多く見られた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現状が続くように、毎時間の目標・内容の提示や声掛けをしていく。 ・パート練習中にリーダーだけが意見を言うのではなく、みんなで意見を出しあったり、鑑賞の授業で書いた感想や調べたことを発表する機会を増やす。 ・クロームブックで小テストを実施し、基礎・基本の定着を図る。 ・C評価の生徒に対しては、重点的に個別指導を行う。
第三学年	<ul style="list-style-type: none"> ・落ち着いて授業に取り組んで、学習内容を理解しようと努力している。 ・歌唱では混声四部合唱に取り組ませた。パートリーダーを中心に、自分たちで練習に取り組んでいる。パート練習では、音程やリズムが複雑で歌いにくい箇所がそのまま課題が解決できない時がある。 ・鑑賞の感想は、音楽の特徴や音色の美しさを感じ取って書くことができるが、書くのが苦手な生徒もいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・音程やリズムが複雑な小節は部分練習をするよう指導し、課題が解決できるよう促す。 ・C評価の生徒や鑑賞の感想を書くのが苦手な生徒に対しては、個別指導を行う。